

盛岡黒陵支部

事務局 小松 利雄 (32回生)

平成十九年度の総会には、五月二十五日(金)に約百人の老若男女の会員が参加し盛大に行われました。今年度は新しい試みとして、会員に「ミニ講演」をお願いすることとし、二十五回生の佐々木篤氏に「黒高の思い出」という演題で講話をいただきました。総会終了後の懇親会は、昨年度から始めた校歌の二部合唱で幕を開け、最長老七回生の菊池敏治(卒寿)大先輩の元氣溢れる乾杯の発声と続き、楽しく賑やかに懇親を深めました。

また、昨年度から交流を深めている西和賀黒陵会の高橋(46回生)、佐々木(50回生)両副会長から「お土産」として「白い友達?」と「西わらび」をご馳走になり故郷の味を堪能しました。さらに、今春、県議会議員に当選した同窓生三人の方々にも花を添えていただき、大いに盛り上がりました。圧巻は、中ジメを「凱歌」、二二で締めようという試み。若手四人が舞台上がり、現役さながらの応援団振りを発揮。会場が大変盛り上がり、高



●今年の「春の食べ歩きツアー」で北山崎を散策しているスナップ写真です。「春鮎を食べるツアー」野田村国民宿舎えぼし荘に泊(二泊三日)五月十二日～十三日

●近況報告

建築家：WWW.tarch.jp



黒陵東京支部
有限会社高橋建築研究所
高橋 寛 (51回生)

4年前、建築史家・鈴木博之氏の講演を聞く機会があった。いま時代は「産業革命・フランス革命・アメリカ独立で定義される近代化(モダン)に匹敵する歴史的転換期」らしい。IT革命という言葉自体陳腐化し、いまや「web2.0時代」だという。

建築設計も変革。鉛筆一本の商売から、CADが普及しいまや標準である。私は、新しい設計手法とデザインを求めて、3D(3次元)CAD設計に専心してきた。PC内の3Dモデルから図面・アニメ・見積りがオートマティカルに生成される革新的手法である。距離をおいてきたHPも一念発起!

先日完成し、「yahoo!カテゴリ」の「建築家」の16番目に登録された。建築家駆け出しの身として、ここに掲載とは、ただ驚き。是非ご覧いただきたい。

(表題URLの他、「yahoo!カテゴリ」の検索で「建築家」と入力、「高橋寛-建築住宅3D設計innovation」と表示されている。)

在校生に戻ったような百人の若者の大応援となりました。

今後は、他支部黒陵会との交流会と若い会員を如何に参加させるかを課題とし、盛岡黒陵会高橋洋介(32回生)会長を先頭に会員相互の親睦と交流を図っていきたく思っております。

会に来賓として出席してくださいました川村祥平学長、事務局の先生方ありがとうございました。黒陵会本部からの出席者がなかったのが残念です。

黒陵会報二十九号を読み、盛岡黒陵会との交流を考えてくださる支部がありましたら左記に連絡ください。

盛岡市南仙北一丁目一ノ一 小松まで
電話 019(635)5650

関西支部

事務局 鎌田 龍児 (28回生)

関西黒陵会には現在三十六人の会員がいます。近畿二府四県に在住している黒陵同窓生ですが、大阪府内は割合少なく、京都府や奈良県、兵庫県などで活躍している人が多いため、例会を開く日程に苦慮するのが実情です。この他、連絡がつかない卒業生などを含め、まだ五十人ほどが在住しているものと考えられますが、今後さらに会員を増やして行きたいと願っています。

関西支部の話題としては、昭和五十七年卒五十四回生の八重樫善幸君が、四月に行われた大阪府会議員選挙で二八、八二八票を獲得して、豊中市でトップ当選を果たしました。

また、奈良県斑鳩町在住で三十回生の古野俊明君は立派な「黒陵第三十回生新聞」を発行するなど、積極的に同期の交流を図っています。先日同窓会の総会に参加させていただきましたが、五十年ぶりに見る母校の桜は、私

には展勝地など及びもつかないほど素晴らしく感動的でした。卒業生の心にはあの桜が鮮やかに咲いていることを改めて実感したことでした。



●乾杯の音頭をとる鎌田さん(同窓会総会・懇親会にて)

近くの黒陵会に顔を出して見ませんか!

○全国の黒陵会

- 黒陵二戸会 黒陵会花巻支部 黒陵会釜石支部 盛岡黒陵支部 西和賀黒陵会 水沢支部 江刺支部 一関支部 宮城支部 東京支部 中部(名古屋)支部 関西支部 相去黒陵会

★黒陵会支部、あるいはグループの活動便りをお寄せ下さい。毎年発行の本会報で紹介いたします。

●近況報告

建築家：WWW.tarch.jp



黒陵東京支部
有限会社高橋建築研究所
高橋 寛 (51回生)

4年前、建築史家・鈴木博之氏の講演を聞く機会があった。いま時代は「産業革命・フランス革命・アメリカ独立で定義される近代化（モダン）に匹敵する歴史的転換期」らしい。IT革命という言葉自体陳腐化し、いまや「web2.0時代」だという。

建築設計も変革。鉛筆一本の商売から、CADが普及しいまや標準である。私は、新しい設計手法とデザインを求めて、3D（3次元）CAD設計に専心してきた。PC内の3Dモデルから図面・アニメ・見積りがオートマティカルに生成される革新的手法である。距離をおいてきたHPも一念発起！

先日完成し、「yahoo!カテゴリー」の「建築家」の16番目に登録された。建築家駆け出しの身として、ここに掲載とは、ただ驚き。是非ご覧いただきたい。

(表題URLの他、「yahoo!カテゴリー」の検索で「建築家」と入力、「高橋寛ー建築住宅3D設計innovation」と表示されている。)